

平成31年 1 月23日

平成31年

第 1 回教育委員会定例会会議録

大田区 教育委員会室

平成 31 年 1 月 23 日（水曜日）午後 2 時から

1 出席委員（6名）

小 黒 仁 史		教育長
三 留 利 夫	委 員	教育長職務代理者
弘 瀬 知江子	委 員	
後 藤 貴美子	委 員	
高 橋 幸 子	委 員	
深 澤 佳 己	委 員	

2 出席職員（10名）

教育総務部長	後 藤 清
教育総務課長	森 岡 剛
教育施設担当課長	石 井 信 一
副参事（教育政策担当）	北 村 操
学務課長	杉 山 良 樹
指導課長（幼児教育センター所長兼務）	増 田 亮
副参事	田 井 敏 行
学校職員担当課長	池 一 彦
教育センター所長	柿 本 伸 二
大田図書館長	中 平 美 雪

3 日程

日程第 1 教育長の報告事項

日程第 2 部課長の報告事項

~~~~~  
(午後 2 時00分開会)

#### ○教育長

それでは、ただいまから、平成31年第 1 回大田区教育委員会定例会を開催します。  
本日は傍聴希望者がおります。  
委員の皆様は傍聴許可を求めます。許可してよろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

#### ○教育長

傍聴を許可いたします。

(傍聴者入室)

#### ○教育長

大田区教育委員会傍聴規則第 7 条により、傍聴人は、議場における言論に対して批評を

加え、または拍手その他の方法により公然と可否を表明することは禁止されております。ご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、これより審議に入ります。本日の出席委員数は定足数を満たしていますので、会議は成立しています。

まず、会議録署名委員に後藤委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

それでは、続いて、本日の日程第1について、事務局職員の説明を求めます。

#### ○事務局職員

日程第1は「教育長の報告事項」でございます。

#### ○教育長

それでは、本日は、3点ご報告させていただきます。

まず、1点目は、12月14日に新施設でオープンした、六郷図書館についてです。

2点目は、12月25日に池上会館で行われました、中学生意見交流会についてです。

3点目は、昨日の文部科学副大臣による洗足池小学校の外国語活動の授業視察についてです。

まず、1点目の六郷図書館の開館につきましては、12月12日に内覧会があり、委員の皆様と一緒に見学させていただきました。

六郷図書館1階は、書架が低く、書架と書架の間隔も車椅子が通れるように非常に明るく広く開放的で明るい感じがいたしました。

また、対面読書室や車椅子で入れるトイレなど、バリアフリーに配慮した読書環境というところが特徴で、とてもよい環境であると思えました。

図書館は、区民のまちの拠点ですから、読書活動の読書の拠点として大切な施設でございます。六郷地区の皆さんにたくさん来ていただいて、読書活動を一層盛んになることを期待したいと思います。

六郷図書館の隣には、六郷小学校がございました。六郷図書館と六郷小学校が連携を図って、小さいときから図書館を利用する。また、生涯を通して本好きな子どもにする、そのような連携も必要だと思えます。

読書につきましては、豊かな人間性や知識を磨くことが出来る、とても大事な活動だと思っております。

また、六郷図書館は、六郷の歴史や文化を展示するようなコーナーがあってもいいかなと思えました。今後、六郷地区の皆さまが地域について理解を深めるという目的で、そのようなコーナーづくりについてなど、図書館のあり方を引き続き地域の皆さんに利用していただける図書館になるように詰めていきたいなと思っております。

2点目は、12月25日に池上図書館で行われた、中学生の意見交流会です。この意見交流会は、区の中学校、全校28校の生徒会役員の生徒が一堂に会して、生徒会活動について意見を交流する場ございました。

年間2回行われるのですが、今回は、秋に新たに生徒会の役員になった2年生ですね。会長、副会長、それから書記などの役員が集まって、大田区の中学校全体のテーマ、それから取り組みについて、話し合いを行ってまいりました。

中学校の生徒会活動というのは、一つの自治活動ということになるかと思いますが、子どもたちの主体性、社会性を育む意味では、とても大切な中学校の活動であると思っております。

私が一番印象に残ったのは、中学生の皆さんの非常に前向きな姿勢、それから自分の考えを述べる力を強く感じました。

まず、テーマに沿ってグループで意見交流しておりましたけれども、実に和やかに自分の意見を述べておりました。また、ほかの生徒の意見を聞く態度が、とてもいいと思えました。うなずきながら聞いたり、笑顔を見せたり、十分に人の話を聞く力が身につけている子どもたちなのかなと思えました。

そして、その後全体会で発表するのですが、これも非常に感銘を受けました。生徒も100名以上、それから先生たちもいる全体会の中で、どんどん手を挙げて自分の考えや根拠を明確にしながら次々述べていく姿を見せていただきました。

人数の少ないところ、グループでは話せるけれども、全体になるとなかなか質問といっても手が出ないとか、意見が言えないというのは大人の社会でも子どもたちの中でも、日本人の特性としてあるように思います。

中学生が本当に積極的に意見を述べ、どんどん手が挙がってくるということは、意見を述べるということについて、変化があり成長していると感じました。

これは、中学校の授業が変わってきている影響かなと思えました。グループで意見を言って、全体で意見をまとめて、全体で発表するというように中学校の授業も変わりつつあるのかなと思えました。自分の意見を、理由を明確にしながらしっかりと話す力というのは、養われつつあるのかなと思えました。

これからの社会の中で、こういうような子供たちが育っていることに将来頼もしいと感じ、とてもいいことかなと思えました。

それから、3点目、昨日1月22日、浮島智子副大臣が洗足池小学校に参りました。これは、外国語活動を32年度から本格実施するため、外国語活動について視察に来たところでございます。

洗足池小学校は、秋に大田区の研究校として外国活動について発表しておりますので、その情報を聞いて副大臣が来たということです。

文部科学省の初等教育局長ですね、以下、文部科学省幹部職員も来ておりましたし、ほかに国会議員の議員さんも何人かいらしておりました。今は非常に、外国語活動を小学校でどうやって取り組むか全国的に関心もありますし、教育委員会としても円滑な実施について力を入れているところです。

授業は4年生と5年生の授業がありました。洗足池小学校では、研究主任、それから、副主任ということで、その授業について自分で研究している先生たちがいます。いずれも研究成果を生かして、いつでも活発で楽しそうな英語によるコミュニケーションができるという授業でございました。浮島副大臣も、終始にこにこしながら子供たちの活動を見ていただいて感心しておりました。

授業参観の後に、授業者も含めて話し合いを行いました。浮島副大臣からは、英語の授業を進めるにあたって、どのような課題があるのかということで質問されて、それについて校長、副校長、また授業者がお答えして、現在の課題についてお話をしていました。

また、教育委員会について、どのような取り組みをしているかということにつきましては、増田指導課長から説明をさせていただいて、非常にうなずきながら納得していただいているところでした。

洗足池小学校の外国語活動は、いわゆる英語を繰り返しリピートして覚えるとかそういうことよりも、従来の英語活動と違い、会話や応答に必然性を持たせ、自分の思いや考えを英語で伝え、コミュニケーションを図るということに重点を置くというところに特徴があると思いました。

大田区の導入した各教室の電子黒板を多様に有効に音声や映像を活用しておりました。学校でも英語活動する上で大事な教育機器であり、とても素晴らしいというお話を伺っております。

それから、大田区教育委員会では、アシスタントティーチャーですね、外国人のネイティブの充実に力を入れています、アシスタントティーチャーの方も担任の先生とよく連携をしてとても役に立って効果的に働いていると思いました。

洗足池小学校の先生方も、文部副大臣が来ていただいたというお話を聞いてもらい、非常に評価していただいたということで、自信を深めたのではないかと思います。

今後も、全ての小中学校で楽しい外国語活動、英語授業ができるように取り組んでいきたいと改めて思いました。

私からの報告は以上でございます。

何かご質問等ございますでしょうか。

それでは、委員の皆様からもそれぞれ学校等を見学していただいて、ご感想もあるかと思えます。ご報告、ご感想等を伺えればと思えます。

#### ○後藤委員

私は、12月12日に、教育長のお話がありましたように、六郷図書館の視察をさせていただきました。新築ですのでもちろんなのですが、想像以上に大変きれいでとても充実性の高い図書館だなというふうに感じました。

幼児、乳児に対する配慮もなされていて、トイレも小学生が使えるトイレ、そして幼児、乳児が使えるトイレなども設置してありました。幼児が使えるトイレが設置されているということは、家庭においてトイレトレーニングなどを行っている保護者にとっても、大変ありがたいトイレだなというふうに感じました。

小学生、中学生、高校生といった学生にも大変充実した本の種類がたくさんありまして、どの本も新しく用意していただいたという印象を受けました。一般の方々にも利用しやすく、本棚と本棚の間のスペースなどがとても広く設置されていたので、本を選ぶ際にはとてもスムーズではないかなと感じました。

高齢者の方々に対しても、休憩所など、どなたでも使えるように設置されており、飲料水の自動販売機が何台か設置してありました。ただ一つ気になったのが、椅子の高さが少し高かったかなという点が、これから改善していくべき点と感じました。

六郷図書館、これからも子どもたちも大人も地域の方々を始め、多くの区民の皆さんが利用していく活発性のある図書館になるといいなと思っています。

二つ目は、1月12日、西六郷小学校の学校公開に行かせていただきました。こちらで

は、学校公開の中に、道徳授業地区公開講座が含まれており参加をしまして、お話を聞きましたところ、教育委員会から指導課指導主事 中治先生 謙一先生をお招きした講義といった講座でした。

内容としましては、これからの道徳教育が教科化されるにあたり保護者、地域の方々への理解を深める講義といった内容でして、例えばということで、参加している保護者、地域の方々から代表何名かの方にご協力いただき、中治先生とのシュミレーションで行うといった体験型の講座でした。

例題：『仕事の出張で博多に行ったお土産にと、辛い物が苦手な自分が辛子明太子をいただきました。そのとき、あなたはどうしますか。』といった内容で、いただいた自分は、辛いものがとても嫌いで、食べられないといった背景。しかし、くださった方と自分とは仲がよく信頼関係もあるといった関係性の設定で行われた結果、

意見1：せっかく買ってきてくださったのだから、相手を傷つけないよう配慮し、感謝を伝える方。

意見2：買ってきてくれてありがとうとお礼を言い、感謝の気持ちを伝えると同時に自分は辛いものが苦手ということも伝え、自分の心情に少し気づいてほしいといった気持ちを表す方。

意見3：ありがとうという感謝の気持ちとともに、家族が大好きなので家族に食べてもらおうと喜ぶと、自分が食べられないことは伝えず、感謝の気持ちを共有することを告げる方。

ご協力いただいた方々にも、もちろんこういう話をしますよといったような前振りはなく突然のことだったのですけれども、本当に様々な意見をご発言いただき、皆さんで共有することができたことに、感謝した次第でした。道徳の授業では、こういったように、子どもたちが実際に様々な現場に立ち会ったときに、人それぞれ様々な意見があること、又、自分の意見をきちんと述べられる力を育てていくといったことを目的の一つとしています。道徳の授業ではどんなことをするのか、又どういうところまで授業を進めていくのかというシミュレーションに沿った、とてもわかりやすい説明をしていただきました。ご参加いただいた方々には、このように道徳の授業をやるのだな、道徳の授業では子どもたちがその場の場面を感じ、捉えられるような設定のもと、自分の意見を含みいろいろな意見や考え方があるという現場を体験するという内容がよく理解された道徳授業地区公開講座となりました。

私も参加して、本当にいろいろな意見がある中で、子どもたちが生き抜くためにいろいろな意見を聞いたり、自分の意見がきちんと述べられるといった力は、様々な場面で成長とともに身につけていくといいなと思った講座でもありました。

私からは以上です。

#### ○高橋委員

教育長もおっしゃっていた、中学校生徒会の意見交流会に行っていました。新しいメンバーの生徒会ということで、どのような話が出るのか楽しみにしてまいりましたが、課題が、楽しい学校をつくるために生徒会がどのように取り組むかということの意見交流でした。

大田区共通で取り組むべき課題として、七つのテーマから三つに絞るとい話し合いを分科会、全体会、それから学校別に話し合っておりまして。それぞれ違うのが出ておりましたが、一つだけ私がチェックした中で共通したのがありましたので報告します。

いろいろな生徒が活躍できる、一生懸命になれる活動場所があること、それが分科会、全体会、学校別で共通したテーマでした。一生懸命、生徒会として頑張ってみんなのことを考えているなという印象でした。

そのほかに情報交換をしておりまして、各学校とも目安箱というものを置いて意見を求めたり、生徒会新聞を発行して広報したり、意見を求めたりしているという話を聞きました。新体制でしたが、とても意識が高く熱心な意見交流会でした。

以上です。

### ○三留委員

私も中学生の意見交流会に出ましたので、簡単に話をさせていただきたいと思います。

中学生意見交流会のねらいというのは、各中学校の生徒会の役員が交流し合って考えを述べて、それぞれの生徒会活動の活性化を図ることではないかと考えているのですが、それに沿った活動になっていると感じました。

中学校の特活研究部の先生たちが大変よく準備をして、会をコーディネートしたという感じがしました。今回、決まったことをまた来年の夏の討論会で話し合うということで、そういう流れもいかなと感じました。

1、2年生が多いということで、まだ議論にはなっていないところもあると感じました。一生懸命みんなやっているというのはわかるのですが、相手の話を引用したり、話をかみ合わせたりしないと、どうしても発表的になってしまうように感じました。子どもたちの熱意だとか、まじめさは、好感がもめました。

私は、これからの社会を生きる子どもたちの資質の一つとして、自分の考えをしっかりと持って、議論をして、折り合いをつけながら結論を出していくというような資質が大変必要だと思っているのですが、そういった意味合いから考えて、非常に中学生意見交流会というのは、大変有意義な取り組みではないかなと感じました。

余談ですが、会の冒頭でグループの話し合いの中でそれぞれの学校の自慢を発表していました。私が参加したグループは、子どもたちが、「放課後に自分たちが自主的に放課後に学習サークルで自習をしています」とか「ユネスコスクールでこんなことをやっている」とか、「学校公開清掃ボランティアをしている」「ノーチャイムデーをやっている」など、自分ごとのよう自慢をしていて、大変それがほほ笑ましいなという感じがしました。こういった子どもの態度ですとか、子どもの発表内容から、区内の中学校の学校づくりというのがだんだん充実してきているのではないかなという感じがいたしました。

以上です。

### ○深澤委員

私は、六郷図書館の施設に行きましたので、そのときの感想を述べさせていただきます。

先ほど、教育長からお話がありましたけれども、非常に場所がいいなというのが、まず

感想でした。現地にあったものの建て替えだということを聞きましたけれども、周りに小学校とか、中学校とか、多くの教育機関がございましたので、そういう意味で非常に使いやすく子どもたちが利用しやすい環境にあるので、とてもいい場所であると考えました。

また同じく先ほど教育長から、文化を展示するスペースがあるといいですねというお話でしたが、私もそう思っておりました。ただひとつ気づいたのが、六郷凧が飾ってあったことですね。私は六郷凧の本物を見たことがなかったので、すごく印象的でした。六郷小学校かどこか他の小学校でお正月に六郷凧たこを揚げるというお話を聞いたことがあるのですが、こういう凧を揚げるのだと思い、やはり文化的なもの、地域に根差したものが飾ってあるということは非常にいいことであると感じました。

あと、書籍に関してなのですが、私は今小学生の子どもがいるので、どういふ本があるのかなと思って見ましたら、子どもが喜びそうな新しい本がいっぱい入っているので、何でこんな新刊がいっぱいあるのですかと聞きましたら、毎月新刊についてはきちんとチェックをして区民の方のご意見なども伺いながら新しいものを入れているということでしたので、なるほどなと思いました。

ただ、これは教育委員としての視点ではなく、多分、法律家としての視点になってしまうのですが、法律の本がちょっと手薄だなと感じました。大田区で以前、私が法律相談をやっていたときに、離婚や遺産に関する相談が非常に多かったです。だけれども、離婚の本も1、2冊、遺産分割の本も1、2冊しか置いてなかったもので、これでは1冊貸し出しされてしまったら、行ったときに無いということになってしまうので、もうちょっと区民の方が利用しやすいような法律の本を充実させるといいなというのが感想でした。

以上です。

#### ○教育長

それでは、次の日程に移ります。

日程第2について、事務局職員の説明を求めます。

#### ○事務局職員

日程第2は、「部課長の報告事項」でございます。

#### ○教育長

それでは、部課長の報告をお願いいたします。

#### ○指導課長

私から2点、申し上げます。

まず、平成30年度第10回中学生「東京駅伝」大会の開催について、ご案内を申し上げます。資料をご覧ください。

「1 目的」です。この大会は、中学生の健康増進や持久力をはじめとする体力向上、スポーツの振興及び生徒の競技力の向上を目的として実施しております。

2から4はお読みいただきまして、「5 開催日程」でございます。平成31年2月3日 日曜日、開会式は、午前9時30分、会場は、都立武蔵野の森総合スポーツプラザメインア

リーナでございます。女子の部は午前10時、男子の部は午後1時スタートとなっております。

「6 開催場所」です。アミノバイタルフィールド・都立武蔵野の森公園特設周回コースで開催をいたします。昨年度までの会場であった、味の素スタジアムが改修工事で使用できないため、メイン会場とコースは変更となっております。応援場所は、都立武蔵野の森総合スポーツプラザメインアリーナとなっております。

「7 実施種目」です。男子の部は、合計42.195kmを17人の選手で、女子の部は、合計30kmを16人の選手で走り、ふるさと大田への思いと襷をつなぎます。

選手と補員を合わせた代表選手は裏面「8 選手一覧」のとおりです。

選出にあたっては、大田区立中学校陸上選手権大会の記録をもとにした学校からの推薦及び中学校からの参加希望者を募集するとともに、選考会を実施し、決定しております。昨年度は、女子の部8位、男子の部7位、総合の部8位と健闘いたしました。また、男女ともに、10位までに贈られる敢闘賞を受賞し、加えて、女子は、過去最高記録でゴールしたチームに贈られる特別賞を受賞しております。今年度は、11月10日、土曜日に出発会を行い、合同練習を開始しております。

「9 その他」です。11月25日に結団式を行い、選手たちは健闘を誓っております。大田代表チームの活躍を大いに期待するところでございます。

次に、ものづくり教育・学習フォーラムの実施結果を報告いたします。資料をご覧ください。

先週の土曜日、1月19日に大田区産業プラザP i Oで開催をいたしました。回を重ねて、今回で17回を数えております。開催にあたっては、準備会委員長千鳥小学校杉校長先生をはじめとして、準備会委員の先生方や皆様に準備や当日の運営をしていただきました。

加えて、大田区産業振興協会の皆様、小学校中学校のPTA連合会の皆様にも、受付やご案内をしていただきました。また、大田区公式PRキャラクター「はねぴょん」も駆けつけてくださりまして、フォーラムを盛り上げてくれました。皆様の力を合わせて、このフォーラムを開催させていただいていることに、心より感謝を申し上げたいと思います。

ものづくり体験コーナーでは、合わせて、21種類の体験種目を17の企業・団体様に実施をしていただきました。この体験コーナーは、毎年度、受付開始の1時間以上前から並んで待っている子どもや保護者がいらっしゃるほど、大人気でございます。体験を終えた子どもたちが、つくった作品をうれしそうに保護者に見せて、大事そうに持ち帰る姿も印象的でした。

今回、日本工学院専門学校に参加をしていただきましたが、初参加の日本工学院専門学校の学生さんからは、「楽しかったです。来年もぜひやらせてください。」とのお声もいただいております。参加した子どもたちがものづくりに親しみ、楽しむ姿が、教える側である大人も楽しむことができたという相乗効果もございました。

舞台発表では、南六郷中学校生徒による「おおたオープンファクトリー」への参加体験の発表もございました。オープンファクトリーは11月24日土曜日に開催され、地域の町工場がその仕事ぶりを区民の皆様へ公開するイベントでございますが、生徒6名がそこに参加し、その体験を発表しておりました。

ガラス工場では、ガラスを加工する炉の熱さを体験するとともに、ガラスの性質を知り尽くし、匠の技を持っている熟練工から説明を受けたことは、生徒たちにとって、自分たちの住む地域のよさを実感できるよい機会となったのではないかと考えております。ほかにも、和紙のよさを生かしたランプシェードの制作、蚕のまゆ玉を使った作品づくり、または、のりすき体験などの発表もございました。

展示発表では、六郷とんびだこづくり、大森麦わら細工など、大田ならではの作品も多く展示されておりました。

2階の競技会場では、木工部門、ソーイング部門ともに、4時間でそれぞれの作品を完成させ、制作の技術や出来栄を競うというのですが、代表選手の真剣な眼差しと中学生とは思えない高い技術が印象的な競技会でした。

今回、スタンプラリーの景品として、区役所が出る古紙から再生紙を作成する「ペーパーラボ」による「はねぴょんノート」を用意いたしました。表紙には、かんなを削る「はねぴょん」と大田の町工場の説明、裏表紙には環境啓発の内容が記載されており、600冊配布し好評でございました。

今回は7,953人の皆様にご来場いただきました。本フォーラムは、ものづくりのまち大田の、教育における一大イベントとなっております。参加した子どもたちが大田へのふるさと意識とものづくりへの興味・関心を高めるきっかけとなり、将来、大田区のものづくりを支える、関わる、または、応援する人になってくれることを期待しているところでございます。

私からは以上です。

#### ○教育長

それでは、ただいまの報告にご意見、ご質問等はございますでしょうか。

#### ○三留委員

私、午前中の舞台発表、展示発表、ものづくり発表を見させていただきました。舞台発表は、六郷工科高校が加わりまして、また、内容も一層充実したのではないかなと思います。

私が見たところでは、インターンシップ、職場体験、それから大田区ゆかりの野菜づくりや海苔づくり、それから図工科、技術家庭科に関わる発表がありました。どの発表からも特色ある体験、学習活動をしているということが伺えました。

中学校のエコバッグづくりというのがありまして、パソコンを活用してデザインを考えて、実際に制作していくというもので、技術科と家庭科の融合という新しい試みでした。そういった取り組みも紹介されて、これからもいろいろ工夫して発表していくのだなということを感じたところです。

展示作品は、大変バラエティーに富んでいて力作が効果的に展示されていたなという感じがいたしました。

それから、ものづくり体験も子どもたちが本当にいきいき参加していたと感じました。

この会の実施にあたっては、大田区産業振興協会協力団体はもとより、指導課、それから大田区教育研究会の小・中学校の先生方、小・中学校のPTA連絡協議会の方々が様々

なところで学校の役割を果たされていて、いろいろ仕事をされていました。大変ありがたく感じました。今回も大変いいフォーラムができたなという感想を持ちました。

#### ○教育長

他にございますでしょうか。

#### ○弘瀬委員

19日の午後から参加いたしました。ものづくり体験では、こま遊びをしたり缶バッチなどをつくったりして、とても楽しそうでした。近くで見ていた親御さんも一緒になって楽しんでいたのがとても印象的でした。

ものづくり作品体験学習展示発表のブースでは、区内の小学生と中学生の作品が展示されていました。どれも力作で感心いたしました。

ものづくり協議会では、木工部門で最優秀賞に選ばれた蒲田中学の生徒さんは去年も最優秀賞を受賞されたということで、将来がとても楽しみだと思いました。

ソーイング部門では、1メートルの布からバッグをつくるというのがテーマで、4時間の短い限られた中で、その作品をつくるということは大変だと思いました。木工部門、ソーイング部門に参加された皆さんの作品をじっくり見てみたいなと思いましたが、表彰された方だけしか見ることができず残念でした。

2階の展示発表の特別賞のロボットプログラミングに挑戦したのが5年生と知ってびっくりしました。ロボットづくりとか、パソコンでプログラミングする方法、これからますます広がっていくことだろうと思います。

アイデア賞は2020年のオリンピックを涼しくする研究でした。夕方の打ち水は有効、日中は少しずつ水を垂らすのがいいでしょうということですが、どのようにしていくのでしょうか。2年前から、このものづくり教育を見させていただいていますが、今後もものづくりの楽しさを、たくさんの子供たちが経験できるように大田区ならではの事業としてますます発展していくことを望んでいます。ありがとうございました。

以上です。

#### ○高橋委員

ものづくり教育学習フォーラムですが、初めて参加いたしました。主に、体験発表を聞いていたのですが、その中で、シルク筑波博物館というところで、蚕を一人が2、3匹ずつ育てて、桑やりなど、ずっと続けて、糸をつむぐところまで実際に観察していたようです。最後に、繭もそのまま捨てないで絵を描いて自分のものにするという形でやっておりました。私も蚕がどうして生糸になるのか、ちょっと不思議だったのですが、初めて、そんなのだと納得した次第です。とてもいい経験をしたと思います。

もう1点は、海苔博士になろうということですが、現在、昔、海苔をつくっていた人たちが地域にまだ残っておりますので、その方たちが子どもたちに海苔を最初からつくるところから教えてくれています。冬につくりますので、やはり冷たいお水とか、とても厳しいということと、海苔が最後に簀から取って、実際に炙って食べるところまでやったので、達成感も学んだと思います。

地域の人たちが残っている間は、その海苔づくりという昔の伝統も守られていくと思いますが、課題もあると思います。

以上です。

○教育長

私は、委員の皆さんと同じように、ものづくり体験のところで、大田の技術を生かしたものづくり、本当に魅力的なものづくりの体験をしていると思いました。

3Dプリンターというのを持ってきて、ネームプレートですかね、立体的なものを作っていましたし、光ファイバーを利用して夜の星空をつくるなど、本当にものづくりの技術を生かした体験になっているなと思いました。17回目なので、発表についてもコーナーについても充実しているのかなと思いました。

発表の中で、印象に残ったのは、三寸ニンジンです。地域の特産の三寸ニンジンを育てて、一般的なら育ててこういうのができました、食べました、おいしかったということで終わるのでしょうけど、それを地域の和菓子屋さん、それを和菓子づくりまでして、そこで和菓子にして食べるというところまでやっておりました。

その和菓子屋さんは、大田区のお土産百選に選ばれており、そういう活動にしても、海苔づくりにしても、一つの活動ではなくて、非常に地域の特性を生かしながら、ものづくりに関わる活動をし、内容が充実しつつあるなと感じました。

それでは、ほかにご意見等はございますでしょうか。よろしいですか。

(「なし」との声あり)

○教育長

それでは、本日は、これをもちまして、平成31年第1回教育委員会定例会を閉会いたします。

(午後2時40分閉会)